



本資料は5月8日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。
<https://bit.ly/2KKEj3M>

アデコ 2018 年度第 1 四半期は成長を維持し、戦略も前進

– 基本的な成長は好調、一時的要因と投資が利益に影響 –

[2018 年 5 月 8 日 スイス・チューリッヒ]

2018 年第 1 四半期サマリーとハイライト

- 営業日数調整後の既存事業売上高¹は前年同期比 6%増
- 人財紹介事業の既存事業売上高が 18%増と大幅に成長
- 既存事業の粗利率は、祝日の影響 (-25bps)、ドイツにおける高い病欠率とストライキの影響 (-10bps)、CICE 税控除の低下の影響 (-15bps)を受けました。価格ミックスのトレンドは若干改善 (-10bps)
- 一時的要因を除く EBITA² 利益率は 3.8%：粗利率の減少、FTE の増加、戦略的投資により前年同期比 100bps 減。第 2 四半期以降は投資による影響および祝日の影響が減少により改善する見込み
- 当期純利益は 1 億 3000 万ユーロ
- 2018 年 3 月、4 月の営業日数調整後の既存事業売上高は 5~6%増
- General Assembly 社の買収により、アデコグループによるスキルアップと再教育のメニューが拡充し、顧客企業が求める 21 世紀のスキルを提供するための独自のソリューションを構築することが可能に

アデコグループ CEO、アラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「2018 年第 1 四半期は、『Perform、Transform、Innovate』というアジェンダの枠組みの中で、アデコグループの変革とデジタル化に引き続き投資しました。『Perform』では、基本的な売上の成長が好調を維持し、フランスでの成長率は市場の伸び率と同等の 10%となりました。EBITA 利益率は、いくつかのイレギュラーな要因と、当社の戦略的イニシアチブへの継続的な投資により悪影響を受けました。これからの影響は、2018 年の残りの期間中に減少します。また、最近の FTE への投資により、生産性向上をより一層推進することに重点を置いていきます。また、成長を促し差別化を進めるための戦略的な柱である『GrowTogether』プログラムも順調に進んでおり、2018 年後半に 5000 万ユーロの利益をもたらす見込みです。

『Transform』と『Innovate』のアジェンダでは、統合フロントオフィス (InFO) やカスタマーポータルなどの新しいシステムが、当社と顧客企業、キャンディデート、そしてアソシエイトとのやりとりを変革しています。また、General Assembly 社の買収は、教育と雇用が交差するところにユニークな複合価値提案を生み出す、さらに重要な進展です。

過去 12 ヶ月間に、アデコグループの戦略的開発には大きな進展がありました。われわれはベストプラクティスを組み込み、新しいツールを導入してコア事業を強化しています。また、有機的な拡大かつターゲットを絞った M&A により、オンラインスタッフリング (Adia 社)、フリーランス (YOSS)、デジタルベースの人財紹介 (Vetterly 社)、そしてスキルアップと再教育 (General Assembly 社) という主要プラットフォームをグループに加え、ソリューションポートフォリオを拡大しました。これらのアクションにより、当社は雇用・労働市場におけるメガトレンドを活用し、魅力的な隣接市場に参入することで、われわれがコミットする構造的な売上の増加と粗利率の向上を加速させ、強力なキャッシュフローを継続します。



2018 年はさらに戦略プログラムを組み込み、いま以上の進展を遂げることを楽しみにしています。そして、その成果にコミットする 34,000 人以上の従業員の働きに感謝したいと思います。

*1：既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

*2：EBITA は米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む

*3：2018 年度年 1 四半期の一時的要因を除く EBITA は、事業再編費用に関して 1900 万ユーロ。2017 年度第 1 四半期の一時的要因を除く EBITA は、事業再編費用に関して 300 万ユーロ。

< 主な数値 >

2018 年第 1 四半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100 万ユーロ	2018 年 第 1 四半期	2017 年 ⁴ 第 1 四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,692	5,730	-1%	4% ⁵
売上総利益	1,033	1,078	-4%	1%
EBITA 利益 (一時的要因を除く)	214	273	-22%	-18%
EBITA	194	269	-28%	-25%
当期純利益	130	176	-26%	
希釈 EPS (ユーロ)	0.78	1.03	-24%	
粗利率	18.1%	18.8%	(70)bps	(60) bps
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	3.8%	4.8%	(100) bps	(100) bps
EBITA 利益率	3.4%	4.7%	(130) bps	(130) bps

2018 年第 1 四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100 万ユーロ	2018 年 第 1 四半期	2017 年 第 1 四半期
利払いおよび納税前のフ リー・キャッシュフロー ⁶ (FCFBIT)	15	127
フリー・キャッシュフロー (FCF)	(19)	99
純負債 ⁷	1,143	823
未払い日数	53	51
現金流動性 ⁸	75%	92%
EBITDA への純負債 ⁹	1.0x	0.7x

*4：2018 年に「ASU 2017-07 - 正味年金および退職後給付費用の表示」を採用したことにより、2017 年の数値が修正された。「販売費および一般管理費」に表示されていた勤務費用以外の年金費用の構成要素は、「その他の収益/(費用)、純額」に表示されます。

*5：2018 年第 1 四半期の既存事業の売上高の成長率は 4%もしくは営業日数調整後で 6%

*6：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

*7：純負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

*8：現金換算は米国会計基準以外の基準で、直近四半期の FCFBIT を直近四半期の EBITA で割ったものを四捨五入して計算

*9：EBITDA への純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を、一時的要因を除いた直近四半期の EBITA で割って減価償却費を加えたもの



THE ADECCO GROUP

2018 年第 1 四半期の日本の状況

2018 年第 1 四半期の日本での売上高は 1%増、もしくは営業日数調整後で 5%増の 3 億 100 万ユーロで、プロフェッショナル・スタッフィング事業と人財紹介事業が好調に成長しました。EBITA は 2200 万ユーロ、EBITA 利益率は IT への戦略的投資により、前年同期比 20bps 減の 7.2%でした。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部

Tel. 03-6743-8085